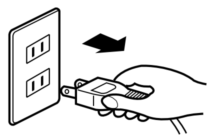
9　消耗部品の交換方法

消耗部品の交換は日々のメンテナンスで必要となってまいりますので、以下の「消耗部品の交換方法」の手順に沿って行ってください。

⚠ 警告　取扱説明書に記載している「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると感電や火傷をする危険性があります。

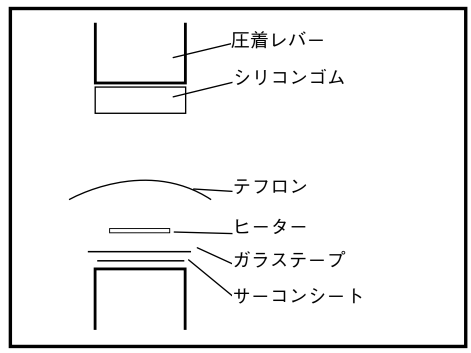
⚠ 警告　各部品の交換の前には、必ず電源コードを抜いてから、作業を行ってください。差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。



必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。

シール部は左図の消耗部品から構成されていますので、部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。

シール部の構成



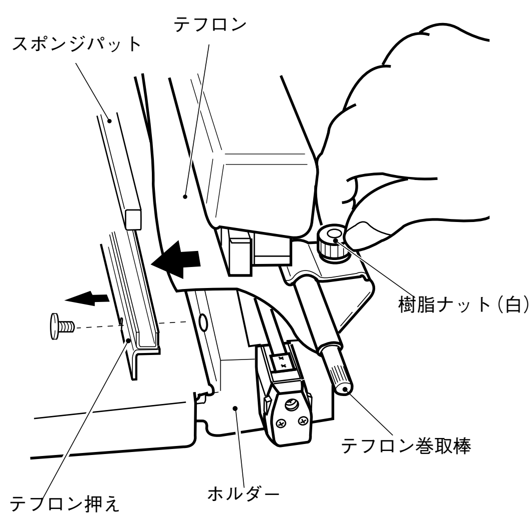
9-1　テフロンのずらし方

【必　要　物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 テフロンが破れた、焦げた　シールが汚い等

テフロンは単品販売、補修部品セット販売しています。

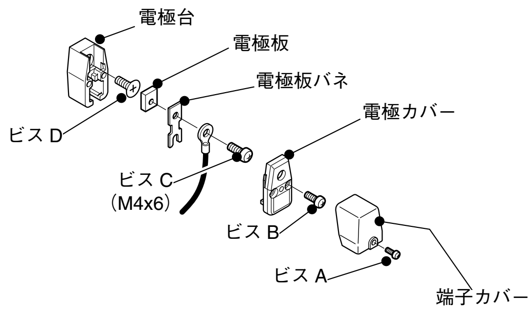
1. テフロン押えの止めビス３本を緩めてテフロンの端を引き出します。（右のイラストはテフロン押えを取り外した状態で描いています。）
2. テフロン巻取棒が回せる程度に樹脂ナット（白）を緩めて、テフロンを矢印の方向に引っぱり出してください。
3. テフロンの不要部分をハサミで切り取ります。
4. テフロンの端をテフロン押えとホルダーの隙間に入れテフロン押え板を固定するビスを締めてセットします。
5. テフロン巻取棒を回してテフロンのたわみをなくしてください。
6. 樹脂ナット（白）でテフロン巻取棒を固定してください。



9-2 ヒーターの交換

ヒーターを取り付けている電極は、左イラストのような部品構成になっています。

電極部の構成



⚠ 警告　もし誤って、ビス C を紛失した場合、ビス C（M4x6）より長いビスを代用しないようにしてください。ビス C より長いビスを使用すると電極台を固定しているビス D と接触して、ショートする危険性があります。

⚠ 注意　ヒーター交換時はガラステープ、サーコンシートの破損状況もかならず確認し、傷んでいるようであれば同時に交換してください。

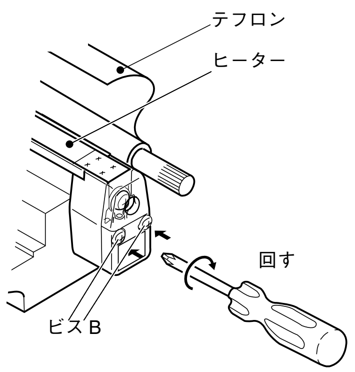
ガラステープ、サーコンシートが傷んでいてヒーターと本体フレームが直接接触するとショートする危険性があります。

【必　要　物】 プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターが切れた、凸凹が発生したルが汚い等

ヒーターは単品販売、補修部品セット販売しています。

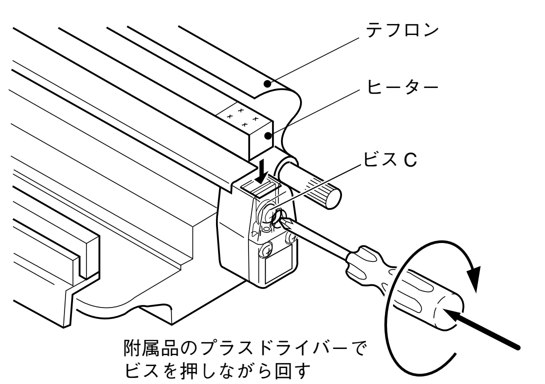
MEMO　ビスや電極カバーを紛失しない様に電極カバーをはずさないでヒーターを交換できる構造になっています。



1 テフロンをはずします。（17 ページ：「テフロンのずらし方」を参照）
2 左右双方電極のビス A をプラスドライバーで緩めて端子カバーをはずします。（左イラストは端子カバーを取り外した状態です。）
3 左右双方電極のビス B を緩めてヒーターが左右に張られていない状態にします。（電極カバーをはずす必要はありません。）

⚠ 注意　ビス B を緩めないと、ヒーターが左右に張られた状態のままになるのでヒーターを取り付ける際に適切に電極板と板バネの間にヒーター端子をセットできなくなります。

4 左右双方電極の電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。
5 取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえたままヒーター止めビス C をドライバーで押しながら締め付けて固定します。



6 3 で緩めたビス B を確実に締付けヒーターが左右に張られた状態にします。（ビス B の締め付けがゆるいとヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります）
7 電極に端子カバーをビス A で固定してください。

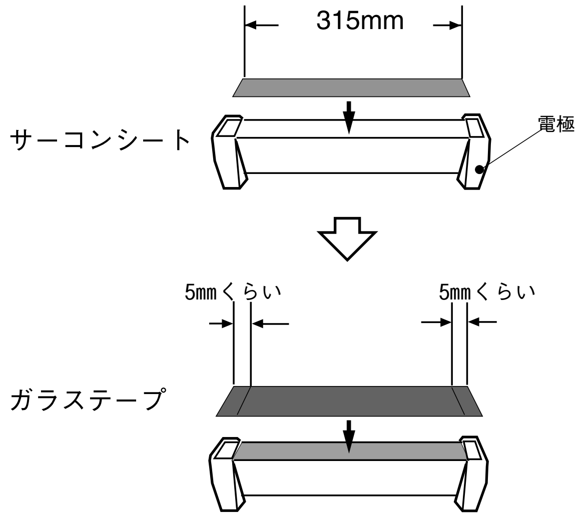
9-3　ガラステープ、サーコンシートの交換

【必　要　物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる。シールが汚い。等

ガラステープ、サーコンシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

1 テフロン、ヒーターを取り除いてください。
2 ヒーター下側のガラステープとサーコンシートをきれいにはがしてください。
3 新しいサーコンシートをシール部の長さより少し長めに貼り付けます。(1 枚)
4 ガラステープをサーコンシートの上に重ねて貼り付けます。約 5mm ずつシール面の外側 (電極の上) から貼り付けてください。(1 枚)



MEMO　粘着のりが残っている上にテープを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。

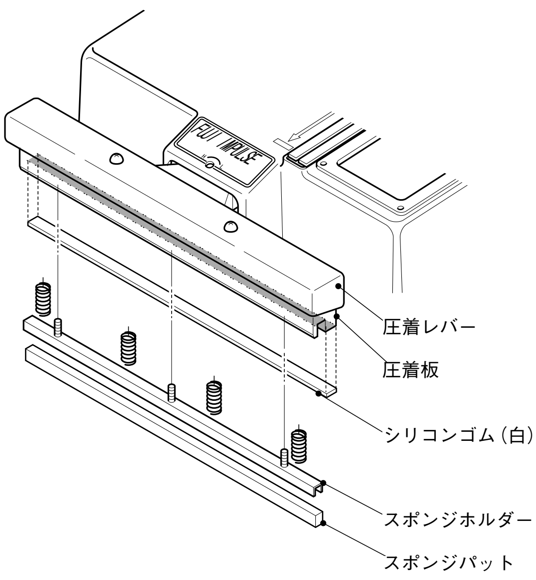
9-4　シリコンゴム (白) の交換

【必　要　物】 シンナー、工業用アルコール

【交換の目安】 シールが汚い　等

シリコンゴム (白) は単品販売、補修部品セット販売しています。

1 シリコンゴム (白) を取り去ります。
2 圧着板に残った粘着のりを工業用アルコールなどを使ってとります。
3 新しいシリコンゴム (白) の剥離紙を取り除き、圧着板の端から順に (右イラストの圧着板のグレー部分に) 丁寧に貼ってください。



MEMO　シリコンゴム (白) は貼り直しができません。

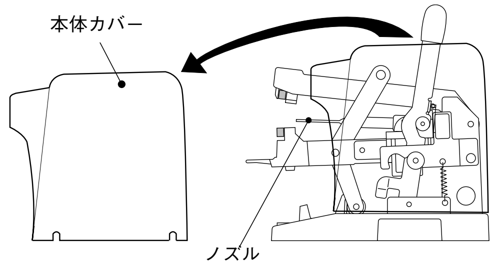
9-5　ノズルの交換

ノズルの詰まりがひどい場合は下記の方法でノズルを取り外して清掃を行ってください。

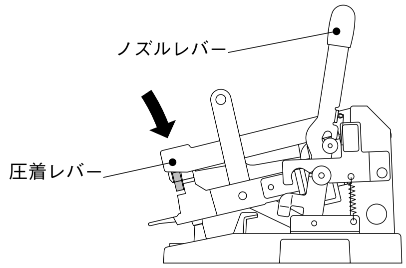
【必　要　物】 プラスドライバー

【交換の目安】 脱気力が低い、脱気しない、ノズルが詰まっている

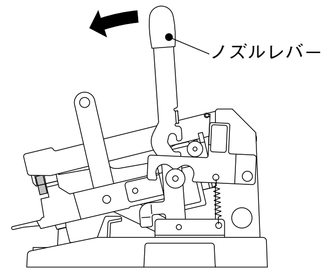
1 本体カバーとテーブルを取り外します。



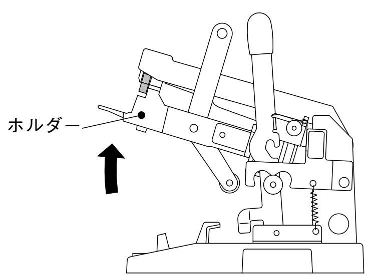
2 ノズルレバーを手前に引かずに圧着レバーを一番下まで押し下げます。



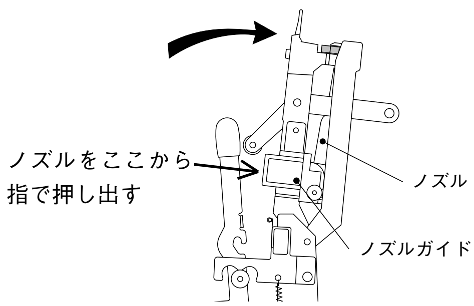
3 圧着レバーを押し下げた状態のままでノズルレバーを手前に引きホルダーとの連結部をはずします。



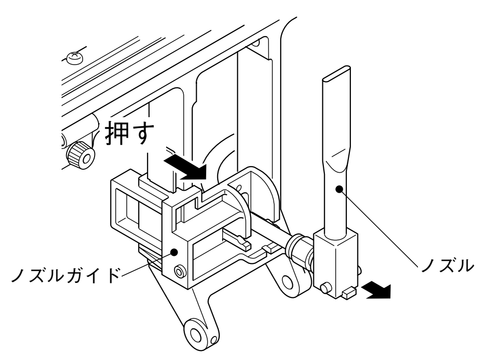
4 ノズルレバーを持ったままホルダーを上へ持ち上げます。



5 さらにホルダー部を上へ持ち上げますとノズルの下側のノズルガイドが見えるようになります。



6 ノズルはノズルガイドにはめ込んでありますので、指で押し出すとはずれます。取り付ける時は、カチッと音がするまで確実にはめ込んでください。

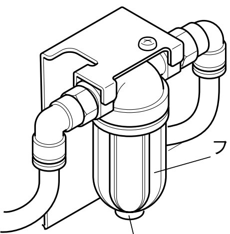


9-6　フィルターの清掃とエレメントの交換

【必　要　物】　フィルターケースが堅くて回らないときはモンキレンチ、ペンチ

【交換の目安】　脱気力が低い、脱気しない、フィルター及びエレメントの詰まりがひどい

フィルター、フィルターエレメントは単品販売しています。

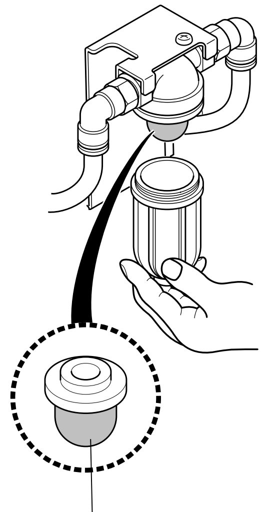


1　ノズルより吸い込まれてしまった米粒や異物は、本体裏面のエアフィルターの中に蓄積されます。上記の【交換の目安】のような症状が発生した場合は以下の要領でフィルターの清掃、またはフィルターエレメントの交換を行ってください。

2　エレメントが目詰まりして脱気が弱くなったときや、フィルターケースに物が詰まっているときはイラストのようにフィルターケースを左に回して取り外し、清掃してください。

汚れ、詰まりがひどい場合は付属のエレメントと交換してください。

3　フィルターケースをはずして中のエレメントを左に回して抜き取り、新しいエレメントを差し込んでください。



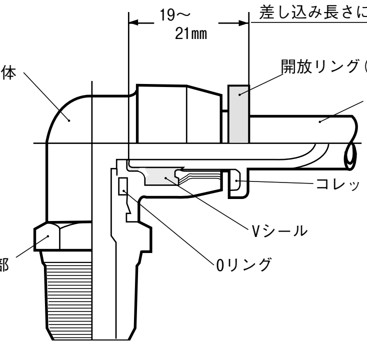
MEMO　フィルターケースが堅くて回らないときはモンキレンチなどでケースの下側の六角形の突起部を回してはずしてください。

10 ホースのはずし方

給・脱気配管のホースを抜き差しする時は、エルボ継手の開放リングを指先で押しながら、ホースを抜いてください。

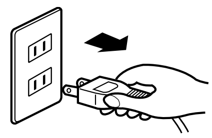
ホースを継手に差し込むときはそのまま差し込んでください。コレットの逆止め効果でホースは抜けません。Vシールにより気密状態を保ちます。

⚠ 注意　ホースの差し込みが少ないと（18mm以下）エア漏れを起こし脱気力が低下しますので確実にホースを差し込んでください。



11 シール圧力の調整方法

使用する袋（フィルム）の材質や厚さによって適切なシール圧力が異なります。
初めて機械を使う時、及び袋を変更してシールがうまくできなくなった時はシール圧力を調整してください。



⚠ 警告　調整をしている途中でマイクロスイッチがONの状態になると危険ですので､電源コードをコンセントから抜いてください。

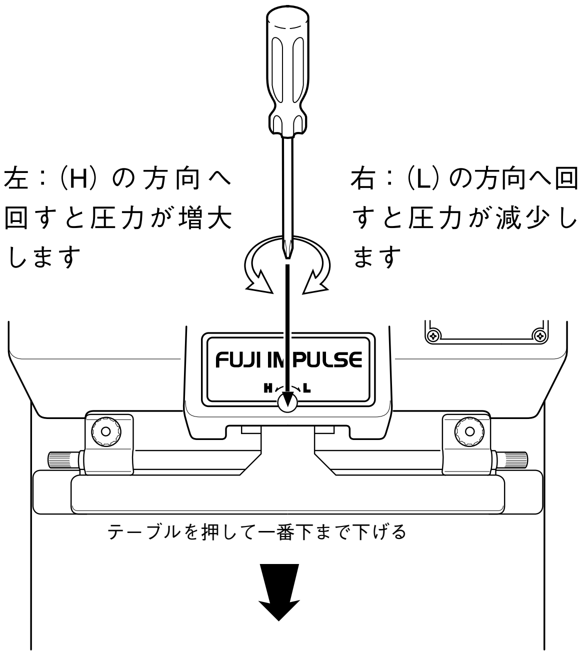
1　テーブルを押し下げると、調整ネジの頭が本体カバー上の調整穴から見えるようになります。

2　付属品のプラスドライバーを穴に差し込んで調整ネジを回してシール圧力の増減を調整します。

3　左に回すと、シール圧力は増大します。
矢印の（H）方向

4　右に回すと、シール圧力は減少します。
矢印の（L）方向

⚠ 注意　調整ビスを大きく締めすぎたり、緩めすぎると部品を破損させたり、部品の連結がはずれたりしますので、注意して調整を行ってください。



12 配線図

